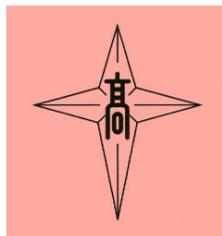


建学の精神

人間尊重
人格中心
社会人への成長



松山学院 校章・マーク
ジャジソン・チャペルにある十字架と星を表わしたもので、縦と横の長さは黄金比となっています。また、星は聖なる星で人間の生きる方向を照らし示しています。

学校法人 松山学院

〒790-8550 愛媛県松山市北久米町815

TEL : 089-976-4343 FAX : 089-976-4348



創立

松山学院は、1891年(明治24)1月、女性宣教師 コーネリア・ジャジソンと西村清雄が愛媛県松山市三番町に創立した〈普通夜学会〉にルーツがあります。この学校の母体は松山組合基督教会(現・日本キリスト教団松山教会)です。

ジャジソンは、当時、松山女学校(現・松山東雲学園)に勤務しており、三番町の自宅から二番町にあった松山女学校まで徒歩で通勤していました。開校時間のはずなのに、学校に行かずに道ばたで遊ぶ子供たち、子守や掃除をしている子供たちがたくさんいることに気づきました。それは、貧しさのために学校に行くことができない子供たちだったのです。当時、就学年齢に達している愛媛県の子供の数は、約16万人。このうち、学校に籍を置いたのは7万6000人、本当に学校に通うことができたのは4万人でした。16万人の内の25%、実に4人に1人しか学校に通えなかったのです。

そこで、夜間を利用して、不就学児が勉強できる施設をつくりたいと祈り、松山組合基督教会の牧師で松山女学校校長の二宮邦次郎に相談したところ、二宮は教会の3人の青年に協力を求めてくれました。その中の1人が西村清雄でした。開校にあたって、ジャジソンは住んでいた家の2階を校舎として使い、25人の子供たちが集まってスタートしました。その後、ジャジソンは現在の千舟町1丁目に売り家を購入し、〈キリスト教少年会〉と改称。1894年(明治27)4年制の尋常小学校に準ずる学校として認可され、松山市永木町に700坪の土地を購入して校舎を建築。これは、ジャジソンが生活費を節約して貯蓄した財産から捻出されました。このとき松山夜学校と改称しています。1943年(昭和18)〈松山城南中学校〉を経て、1948年(昭和23)教育制度の変更に伴い、定時制高校として、〈松山城南高等学校〉に改称しました。

勤労青年のための夜間学校から始まった松山学院ですが、高等学校進学者が激増した時代背景を受け、1951年(昭和26)全日制高等学校を併設。やがて夜間に学ぶ生徒が減少し、1961年(昭和36)創立当初の目的を果たして、定時制高等学校を廃止しました。



校祖 コーネリア・ジャジソン (1860~1939年)
「受けるより与える方が幸いである」(使徒20:35)
というイエスの言葉が彼女を支えました。



創立の背景と歴史

普通夜学会開校のきっかけをつくった、コーネリア・ジャジソンは、1860年10月20日、アメリカ・コネチカット州ストラットフォードに生まれました。13歳のとき、ひどい肺炎を患って死と直面しました。ジャジソンはそのとき、「私の病気を治してください。私は罪を悔い改め、正しい人となって、一生涯、神さまのご用のために働きます。そして多くの人々のために奉仕をします」と祈りました。

奇跡的に回復したジャジソンは、大学卒業後、宣教師となってキリスト教布教のため来日しました。最初に新潟女学校に赴任しますが、冬の厳しさのため健康維持が困難となり、二宮邦次郎の招聘に応じて、松山女学校に赴任しました。

1895年(明治28)ジャジソンは休暇のため、いったんアメリカに帰国。1898年(明治31)再来日すると、昼間は松山女学校、夜は松山夜学校で英語を教えました。1899年(明治32)ジャジソンは宇和島組合教会(現・日本キリスト教団宇和島信愛教会)の伝道活動を行ないます。

ジャジソンは、1939年(昭和14)天に召されましたが、全財産をアメリカン・ボードに委託し、遺言状には自分の全財産を松山夜間中学の基本財産として、利子を毎年送金する手続きを取るように記していました。渡米していた教え子には、こんな言葉を語っています。「私のために祈ってくださるならば、私の病苦が少しでも軽くなるように祈ってください。私が長生きするように祈ってはいけません。…私がこの世を去れば、この家を売ってそのお金を松山夜間中学の増築費に送ることができます」

創立者の一人である西村清雄は、1871年(明治4)松山藩士の長男として、松山市北京町に誕生しました。叔父は道後村村長で道後温泉本館を建てた伊佐庭如矢です。1885年(明治18)愛媛県第一中学校(のちの松山中学)へ入学しますが、翌年、廃校となります。このころ、西村はカトリックの洗礼を受けています。

1888年(明治21)大阪で英語を学び、大阪基督教会で宮川経輝の教えを受けました。1890年(明治23)帰郷。ジャジソンが夜学校の設立を考えていたのに応え、協力しました。1892年(明治25)21歳のときに校長となり、寄宿生と一緒に働き、寝食をともにする日々が続きます。

西村は、幕末から明治にかけて松山の歌人で指導者であった西村清臣の孫にあたり、自身も讃美歌の作詞をしています。日本人創作讃美歌の古典となった「山路こえて」は西村の作品です。このことを記念して、松山学院の1年生は校外学習として、記念碑のある法華津峠に登り、礼拝を守ることになっています。

「山路こえて」の詩は、宇和島で伝道が続いていたジャジソンを応援するために1903年(明治36)訪ねた帰途、法華津峠で夜を迎えたときの体験を詩にしたものです。これが採用されて讃美歌404番(「讃美歌21」466番)となり、永く人々に愛唱されることとなりました。他に和歌もたくさんつくっています。1945年(昭和20)松山東雲中学・高等学校の校長となり、愛媛県教育文化賞などを受賞。1962年(昭和37)松山名誉市民第1号となりました。